
SCU訓練におけるDMATと自衛隊の連携について

(宮脇博基ほか、日本集団災害医学会誌 22: 280-285, 2017)

2018年1月12日、災害医学抄読会 <http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/circle/>

【用語説明】

SCUとは Staging Care Unit の略称であり、広域搬送拠点臨時医療施設のことである。地震や津波などの大規模災害が発生したときに、傷病者を被災地外の災害拠点病院などへ搬送する広域医療搬送を行うために設置される医療施設である。トリアージ、初期診療なども行い被災地内の応急救護所としての役割もある。空港に併設された格納庫や自衛隊基地などに設置される。

DMATとは Disaster Medical Assistance Team の略称であり、災害派遣医療チームのことである。災害急性期に迅速に展開し、応急治療、搬送、トリアージ、被災地内の病院支援などを行える専門訓練を受けた医療関係者で構成されたチームである。

【背景】

広域医療搬送で自衛隊施設内に SCU が設置される場合、自衛隊は SCU 設置に備え DMAT との連携がとても重要である。

しかし平成 23 年の東日本大震災における SCU の活動報告によると「SCUにおける自衛隊と DMAT の連携は有益であるものの、相互の役割・活動方針について「認識の共有などが不十分であり、改善が必要」とされた。

【方法】

今回、平成 27 年度大規模地震時医療活動訓練（以下、本訓練）において、SCU 訓練を行った 13 か所の自衛隊施設、および部隊に対して以下の項目の調査をした。

- ① SCU の開設・運営支援に関する各自衛隊施設などレベルでの計画（以下、SCU 支援計画）の有無およびその内容
- ② 本訓練における自衛隊と DMAT の連携の詳細
- ③ 本訓練における成果所見

【結果】

4 か所の基地で DMAT 資材の保管、作業員および救急車の差し出しなどの支援計画が存在した。

訓練時の連携は概ね既存の SCU 支援計画に沿って実施され、計画がない自衛隊施設では限定的な連携訓練となった。

主な成果所見は「SCU 支援計画が必要」「事前調節には、十分な機関と自衛隊衛星部門の参加が必要」「検討中の新形態の SCU について両者の認識の統一が必要」であった。

【考察】

SCU 支援計画の策定について

自衛隊は明確に決められた行政文書などの根拠に基づいて行動するため、SCU における自衛隊と DMAT の連携の深化のためには SCU 支援計画を行政文書として策定しておくことが不可欠である。

策定・整備において留意すべき点は以下の 5 点である。

- ① SCU レイアウト決定に必要な事項の明確化
- ② 支援要望事項の優先順位の設定、支援事項の細部についての事前教育
- ③ 災害時における DMAT の自衛隊施設入門要領の整備
- ④ 民間空港 SCU への自衛隊連絡員の配置
- ⑤ 自衛隊入間病院における連携

訓練における調整のありかたについて

事前調節が不十分なままで訓練が実施された SCU も多く、訓練の事前調整時期の設定に配慮が必要である。

自衛隊用語と医療用語によるコミュニケーションエラーに対しても対策を講じる必要がある。

新しい形態の SCU における連携訓練について

新形態の SCU 訓練について、訓練の位置づけおよび検証項目について、自衛隊と DMAT の認識統一が必要である。